

科目名	ヨーロッパの歴史	
担当者	溝上 宏美 / MIZOKAMI, Hiromi	
科目情報	教養科目1群 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	近代において国際社会の規範を形成したヨーロッパの近現代史を概観する。
	到達目標	近代において世界の諸地域に大きな影響を与えたヨーロッパの近現代史を理解することで、現代社会について歴史的背景を踏まえたうえで自分なりに考えることができるようになる。
授業計画	(1) 「文明国」とは？—近代ヨーロッパと日本 (2) ヨーロッパとは何か？ (3) 近代世界システムの出現と奴隷貿易 (4) 環大西洋革命 (1) —産業革命 (5) 環大西洋革命 (2) —アメリカの誕生とフランス革命 (6) 国民国家とは何か？ (7) 諸帝国の動揺—オーストリア帝国とオスマン帝国 (8) 帝国主義の時代 (9) 「西洋の没落」？—第一次世界大戦 (10) ロシア革命とソ連の誕生 (11) 危機の二十年—戦間期のヨーロッパ (12) 第二次世界大戦とヨーロッパの分断 (13) 脱植民地化とヨーロッパ (14) ヨーロッパ統合への道 (15) 現代のヨーロッパの課題—多文化化と移民	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業中に紹介された参考文献を読むこと。時折小テストを実施するので、授業ごとに重要事項の復習をしておくこと。
使用教材・参考文献	【教】教科書は使用しない。授業中に配布するプリントを使用する。 【参】授業中にその都度紹介する。	
成績評価方法と基準	試験を実施する。ヨーロッパの近現代史に関する基本的な事項が理解できているかを評価基準とする。試験60%、受講態度40%とし、受講態度には時折実施する小テストの結果を勘案する。	
備考	定期試験までに読書レポートを提出していない学生は、試験をうけることができない。	